

藤井寺市行財政改革推進プラン2024（素案）に対するパブリックコメント実施結果

「藤井寺市行財政改革推進プラン2024」の素案について、パブリックコメントを募集しました。その結果と、提出された意見に対する市の考え方を公表いたします。貴重なご意見を数多く賜り、ありがとうございました。

○ 意見募集期間

令和6年2月19日～令和6年3月15日

○ 提出方法及び意見件数

オンライン申請：1名（5件）

直接提出：1名（匿名のため、受付できませんでした）

項目	ご意見	市の考え方
3ページ （図2）人口の動向と推計について	最新の統計資料を適用することによって、ここは数値を訂正すべきです。 出所を国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」としていますが、すでに「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」が公表されています。 統計資料は、最新の数値を掲載することによって、より正確な実態把握・予測等が可能になりますので、この部分は訂正すべきです。	3ページ「（図2）人口の動向と推計」について、最新の数値を掲載するとともに、「1. 人口の推移」の記述を修正します。
5ページ 「プラン2024目標 実質収支赤字の回避」について	（図4）実質収支では、すでに令和9年度の実質収支が「471876千円」の赤字となっています。 赤字予測を放置したまま、他方で「実質収支赤字の回避」を掲げる意味が理解できませんので、整合性のある記述への訂正を求めます。	4ページ「2. 収支見通し」については、行財政改革推進プラン2024の取り組みを行わなかった場合の見通しとなっており、取り組みを行うことにより5ページ「2. 目標」を達成しようとするものです。 4ページ「2. 収支見通し」の記述について、行財政改革推進プラン2024の取り組みを行わなかった場合であることを明記します。

<p>7ページ 「取組方針2 施設の最適化」について</p>	<p>「市民の利便性等を踏まえた最適なあり方について検討」としていますが、「市民の利便性」にしか着眼しない立場に疑問があります。その一方で、「等」の内容については具体的に何も示さない立場を明らかにしています。これでは「最適なあり方について検討」が、限りなく行財政改革徹底の視点から展開されることが明白です。</p> <p>検討結果は、「最適な」のもとに市民の願いから離れた内容に変質することが予想されます。</p>	<p>市民の利便性や安全性などを考慮した上で、持続可能な行財政運営の実現を目指し、公共施設の最適なあり方について検討していきたいと考えております。</p>
<p>7ページ 「取組方針4 協働・共創によるまちづくり」について</p>	<p>「市民・事業者・専門家・NPOなど、異なるステークホルダーが協力し合い」「効果的な新しい行政サービスのあり方を検討」などしていますが、市民参加の仕組みをまったく整備することなく、事業者・専門家・NPOなどと同列に「協力し合い」することは困難で、画餅そのものです。</p> <p>また、「効果的な新しい行政サービスのあり方」など修飾語を多用する手法に胡散臭さを感じますので、この部分については記述の訂正を求めます。</p>	<p>これまでも行政活動への市民の参加をより一層定着させるために、「藤井寺市パブリックコメント手続実施要綱」や「審議会等の公募委員選任促進に関する指針」を策定してまいりました。これからも市民をはじめ事業者・専門家・NPOと協力し合い、共通の目標や価値観を共有し、共同で課題を解決する協働・共創により、住みよいまちづくりを進めていきたいと考えております。</p>
<p>7ページ 「取組方針6 組織の活性化及び業務の効率化」について</p>	<p>「プロジェクトチームなどの横断的な組織の活用を含めた」などしていますが、この取り組みでは「藤井寺市タスクフォースに関する基本方針」で定めたタスクフォースの活用なども検討すべきではないかと考えますので、善処を求めます。</p>	<p>7ページ「取組方針6 組織の活性化及び業務の効率化」についての記述を修正します。</p>